

# Aii!!! FROM PALAU



やなぎさわしょうがっこう みな 柳沢小学校の皆さん、こんにちは！前は「日本とのつながり」について書きましたが、パラオの道を歩いていると、様々なところで日本を感じることができます。例えば、右の写真は私の通う学校のすぐ近くにある「パラオ公園」と書かれた石柱です。「どんな公園だろう？」と顔をあげると、そこにはガソリンスタンドとスーパーしかありません。昔はここに公園があったのでしょうか？今回は、街中にある「日本とのつながり」を紹介していきます。



## パラオの街中にはどんな「日本」があるかな？

### 日本の車がたくさん？

パラオには、電車はなく、バスもほとんどないので、多くの人が車に乗って移動します。そして、パラオの街中で最もよく見るのが日本の車です。私の同僚は、「日本の車はとても頑丈だから長く乗れる！」と話していました。8〜9割近くが日本車なのでは？と思うくらい、たくさん見かけます！



ちなみに、日本の道路にはたくさんあるのに、パラオの道路には一つもないものがあります。それは、「信号」です！以前、パラオの道路に信号をつけたことがあったそうですが、なぜか逆に事故が増えてしまったそうです……。

### 日本の国旗がたくさん？

パラオには、日本が援助して作ってくれたものや贈ってくれたものがたくさんあります。例えば、右の写真のような学校の建物やパトカー、橋などがあります。街中を歩いていると、ふとした時に見つけて嬉しくなります！他にもどんなものがあるか、探すのが楽しみです。



### ここにも日本のものが？

さて、左の写真のものはなんでしょう？これは、石灯籠です。日本の神社やお寺などでも見たことがありませんか？実は、パラオには日本がつくった神社が2つあります。この灯籠がある場所は、「南洋神社」と呼ばれる神社の参道入り口です。南洋神社は1940年に日本によって建てられました。



今では、このような灯籠が家の門柱に使われている風景を目にします。立派なものも多く、80年以上経ったにもかかわらずきれいに残されていることから、パラオ人にこれらが大切にされてきたことがわかります。私もパラオにいる間に、ぜひ2つの神社を訪れたいです。訪れた際には、この通信でお知らせしますね！



パラオに来てから、毎週日曜日にゴミ拾いをする活動に参加しています！先日、その活動がパラオの新聞記事に取り上げられました。パラオのきれいな海を守っていくためにも続けていきたいです。